

災害の時は、 この箱を開けるべし

〈災害拠点の開設方法がこの箱の中にあります〉





ファーストミッションボックス
(FMB・この箱)は会社の目
立つ場所に置き、毎日目に
する事で、自然に防災意識
が高まる。

このマニュアルの主人公は
箱を開けたあなた、今から
あなたが本部長です。

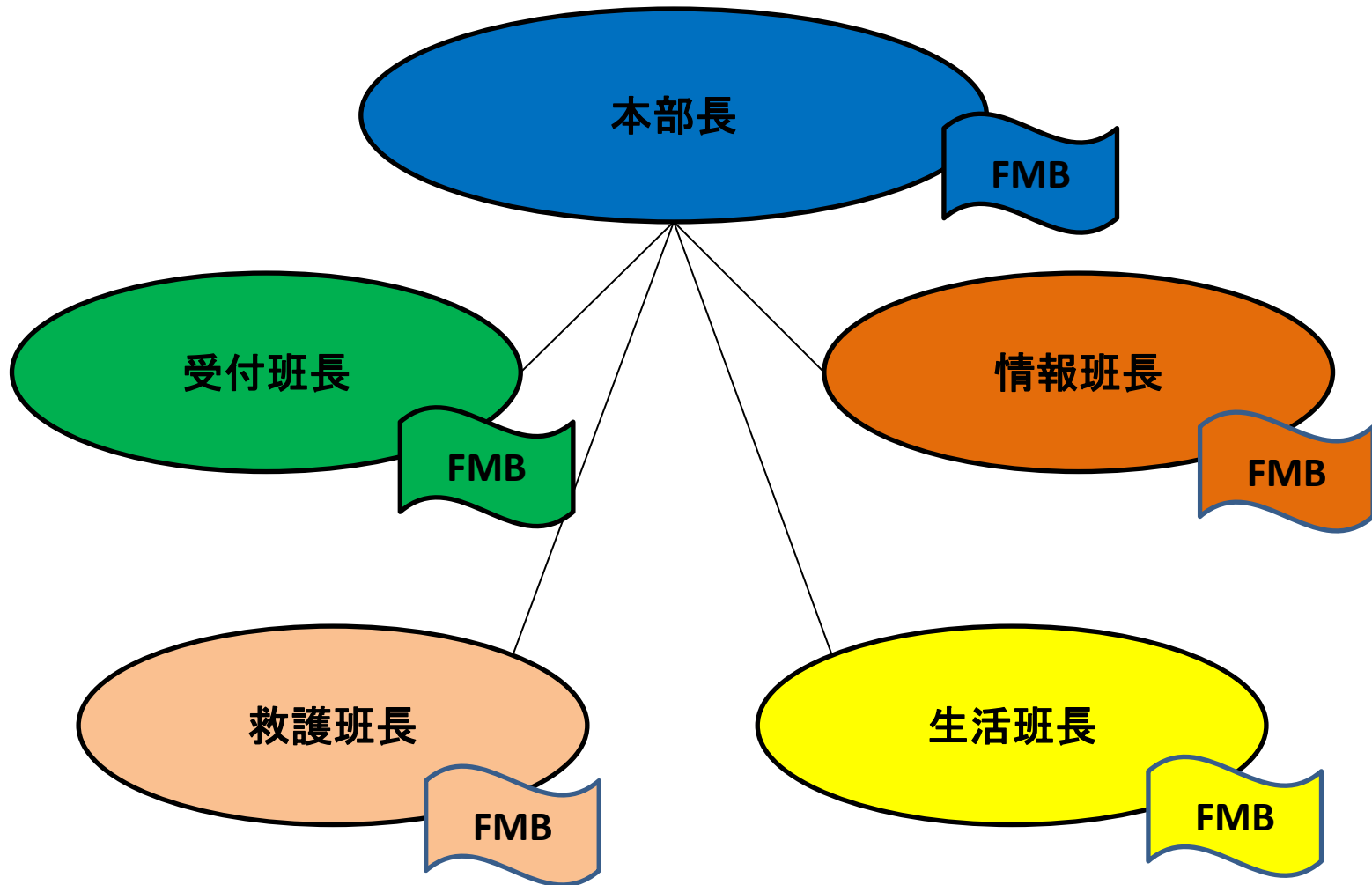


災害対策本部開設に必要な物は、すべてFMBの中にあります。

FMB:ファーストミッションボックス

(3) 「災害に強い街づくり大綱」実行委員会」

防災組織関連図



1本部4班、それぞれファーストミッションドキュメントがあります。

救護班員用作業指示書1

ミッション：医療品備蓄量を把握し設置する。

1. ファイルから、紙と筆記用具を出します。
2. 左図に表示された備蓄倉庫に行き、医療品・備品の備蓄量を書き留める。
3. 備蓄倉庫から、救護班長席へ医療品・備品を用意する。
4. 救護班長へ完了を報告し、このカードを班長へ提出する。




確認時刻 氏名

(5) *作業終了後、時刻名前を記入し、班長に提出

情報班員用作業指示書1

ミッション：ラジオから情報を入手する。

1. このファイルにある、紙と筆記用具を出します。
2. 本部のファーストミッションボックスにあるラジオにイヤホンをかします。右下写真のとおり、スイッチの場所を確認後、スイッチを入れる。
3. NHK第1 (AM594HZ) NHKFM (FM82.5HZ)
beyfm (FM78.0HZ)
から情報をイヤホンで聴きましょう
4. 注意して聞いてほしいのは被害状況です。用紙に書いてある被害状況について注意深く聞いて、情報を受け取ったら項目欄ごとにかきこんでください。
5. 開始より15分毎に情報班長へ報告状況を報告する。はじめの報告時にこのカードを班長へ提出する。



スイッチの位置

確認時刻 氏名

(5) *読み終わった後時刻名前を記入し、報告時に班長に提出

このマニュアルの内容は簡単で分かりやすい！

ミッション2 : 災害用伝言ダイヤル(171)に録音する。

1. 災害用伝言ダイヤル(171)に携帯電話から以下の内容を録音する。

「大災害が発生しました、大里総合管理では災害対策本部を発足させ対応中です。地域のつながりでこの災害を乗り越えましょう。元気な方はぜひお集まりください。」

*** 利用する電話番号は 0475-72-3473 暗証番号は不要です。
NTT東日本災害用伝言ダイヤル利用方法
<https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/>**

災害用伝言ダイヤル「171」を練習しよう！

災害用伝言ダイヤル「171」は原則、災害時に災害の被災地域(東京では03、大網では0475)の固定電話の番号を利用するものです。しかし、意外と知られていませんが、毎月1日、15日の二日間は練習日となっています。複数の回線から同時に録音・再生も出来ます。ぜひ一度ご家族、組織のメンバーで練習しておきましょう。

FMBを使用した防災訓練が従来のものと大きく異なるのは、指示待ちではなく**自発的に動く**ということです。このやり方では**誰でも主人公(本部長)**になれます。

参加者は簡単な内容のミッションカードを**読み→判断し→行動する**という一連の行為を繰り返す事になります。これは昨今の教育現場で実施されている「**アクティブラーニング**」に合致したものになると考えます。

あなたの組織のファーストミッションボックス
(FMB)作成をお手伝いします。

私共は2018年度防災教育チャレンジプラン実践団体です。その役割として、地域にこのFMBを広め地域の防災危意識・防災力の向上を目的としています。

「災害に強い街づくり大綱」実行委員会」

お問合せ先 〒299-3255 大網白里市みどりが丘2-26-5
株式会社パワーズホーム内
「災害に強い街づくり大綱」実行委員会事務局
TEL 0475-71-3189 FAX 0475-77-7208

担当 萩原